

## 日本ピア・サポート学会創立10周年記念

# 『やってみよう！ピア・サポート』の刊行に寄せて

日本の学校教育におけるピア・サポートの組織的な取り組みは、日本学校教育相談学会の海外研修（スクールカウンセリング研修）での学びからスタートしました。

アメリカやカナダの学校視察では、子どもたちの生き生きした活動に触発されましたが、日本の学校でもこれらの活動に近い実践が行われております。学校教育相談の予防的・開発的な観点から、日本の学校教育に合うように改良を重ね、日本学校教育相談学会の研修を活用しながら、ピア・サポートプログラムの普及に乗り出しました。

平成14年12月、日本学校教育相談学会の有志によって「日本ピア・サポート研究会」が発足し、平成18年秋の水上大会で「日本ピア・サポート学会」に改称し、日本学術団体の「協力学術団体」に認定されました。そして創立10周年を迎えることになりました。

この間、大勢の仲間の実践が全国各地で広がる一方、カナダのトレバー・コール博士、デビッド・ブラウン教授、イギリスのヘレン・カウイ博士、香港教育省の生徒指導部門 主席調査官ブライアン・リー先生など、世界のピア・サポート指導者との交流を深め、日本の学校教育の中に確実に根を張る成果を生み出してまいりました。特に諸外国の先生方を学会活動に結びつけてくださった、バーンズ亀山静子先生（ニューヨーク州公認スクール・サイコロジスト）のお力添えも特筆されるものがありました。

本書は、この10年間の実践の成果をまとめ、「今までの活動を整理する」とともに「これからピア・サポートを始める人々の実践に寄与し、指針となる」実践集となることを目指したものです。西山久子先生と春日井敏之先生を中心に10周年記念実践集編集委員会を設立し取り組みました。日本ピア・サポート学会の会員から多数のご応募をいただいたものの中から12編の実践と18本のコラムを厳選し、刊行の運びとなりました。12編の実践には、ひと目で実践のポイントがわかるよう、コメントをつけて便宜をはかりました。

お忙しい学校現場の生活の中で、多くの皆さんから多数のご応募をいただきましたことに、心から御礼申し上げます。また、超多忙なスケジュールの中で、編集の作業にあたられた西山久子先生、春日井敏之先生をはじめ、実践へのコメントや日本ピア・サポート学会の活動の紹介をご執筆くださった皆さんにも心から感謝申し上げます。

厳しい出版事情の中、ピア・サポートの活動に温かいご理解をいただき、応援していただき、今回も出版を引き受けていただいた「ほんの森出版」の兼弘陽子社長、小林敏史氏に御礼申し上げます。

この「実践集」が、学校の活性化と子どもたちのたくましく豊かな成長に大いに役立つことを期待し、刊行の言葉といたします。

平成23年9月

日本ピア・サポート学会会長 育英短期大学教授 **森川 澄男**